

POLYFLEX TYPE1

ポリフレックス#1

ROADSAVER TYPE221

ロードセイバー#221

PARKINGLOTSEALANT TYPE2

パーキングロットシーラント#2

SUPERFLEX

スーパーフレックス

PAVEMENT ROUTER 30

舗装切削機(集塵機付)モデル30



路面のクラック部を簡単に溝状に削り取り、不定形のクラックに沿って、一定の溝を作ることができます。刃の形状を取り替えることで、幅やクラックの形状にうまく合わせることができます。また、溝の深さは油圧装置により、0~5cm・溝の幅1cm~4cmまで任意に変化させることができます。

SUPER SHOT 60 EZ MELTER 500 II

溶解釜60型・EZ メルター500II

材料の熔融と同時に、路面への塗布施工もできる兼用機です。

60型はLPガスによる燃料で、エンジンとバーナーを共用し、クリーンエネルギータイプです。

EZメルター500IIは効率的で、安全性・操作性に優れ、狭い道路から高規格道路まで幅広く、路面のクラック補修を、能率よく低コストで行うことができます。



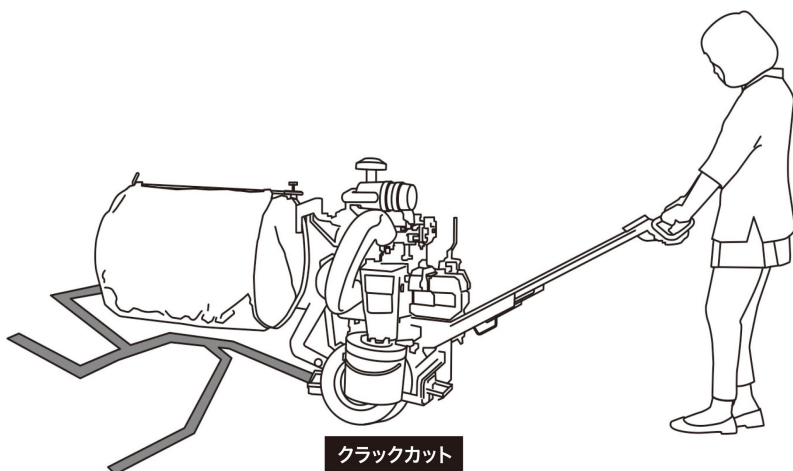
スーパーショット 60



EZ メルター500II

クラックカットシール NETISNoKK-080029-V

ひび割れ率35%以内にクラック補修をし、舗装の寿命を延ばしませんか?



クラックカット



クラック部/路面部 研磨

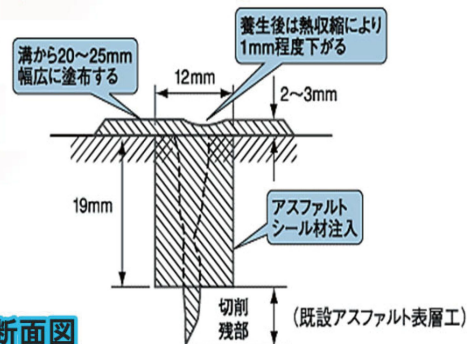


クラックシール注入状況

Concept — コンセプト

1990年代アメリカでは舗装保全(PPシステム)、いかにコストを抑えながら舗装の維持補修管理ができるかを努力してきました。交通量の増大、重車両の通行からくる舗装損傷は年々激しくなり、舗装の切削オーバーレイ工事では費用がかさむため、早いタイミングでクラックカットシールやクラックシールによる舗装の予防的修繕工法で補修費を低減し、LCC縮減と同時に計画的に舗装の維持管理(アセットマネジメント)を行うものです。

【クラックカットシール】



断面図

Feature — 特長

- 経済性 ひび割れ率35%以内に補修すれば、舗装のLCCを縮減できます
- 安全性 車の走行を良くすることで救急車をスムーズに走らせることにより人命救助につながります
- 防水性 クラック部からの雨水の浸入により舗装の構造破壊を防ぎます
- 環境性 車による騒音・振動が軽減できます
- 耐久性 -28℃でも割れない材料もあります

工法選定方法

1 路面損傷のひび割れ処理方法を決定

- **診断区分 I**
(健全) ひび割れ率 0% ~ 20%
A クラックフィリングシール (ひび割れ幅 3mm 以下)
- **診断区分 II**
(表層機能保持段階)
B クラックカット
C クラックカットワイドシール
D クラックカットディープシール
E 目地シール/ジョイントシール

構造損傷のひび割れ処理方法を決定

- **診断区分 III**
(修繕段階)
F クラック抑制シール

2 路面温度の把握

・カット幅・深さの選択

路面温度範囲 (最低路面温度 ~ 最高路面温度)	カット幅	カット深さ
80°C以下 範囲	12mm	19mm
86°C 範囲	18mm	19mm
92°C 範囲	28mm	12mm
98°C 範囲	38mm	12mm

路面温度・クラックカット寸法
路面温度範囲クラックカットをする重要なポイントです。
寒冷地では年間におけるお面温度の最高温度と最低温度との格差が大きく、そのために路面温度によるアスファルトの伸縮を吸収する必要があります。このためにクラックカットの寸法は上記のように路面温度範囲により決定されます。

3 クラックシール材料の選択

a ポリフレックス#1	クラック高耐久性商品 剥がれ抵抗性で10万回以上合格・応力緩和下限温度-10°C以下合格	クラックフィリングシール材料選択早見表													
		°C	52	58	64	70	76	82							
b スーパーフレックス	直火溶解OK・目地材としても合格 オールマイティ商品	-10	a	a											
			b	b											
			c	c	c	c	c	c							
c パーキングロット シーラント#2	駐車場クラックシール商品	-16	d	d											
			a	a											
			b	b	b	b									
d ロードセイバー#221	寒冷地クラックシール商品	-16	c	c	c	c	c	c							
			d	d	d										
			a	a	a										
e スーパーグレイ	景観がよくクラックシールが目立たない。半たわみ舗装クラックシール商品	-22	b	b	b	b									
			d	d	d										
			a	a	a										
f マスチックファン	骨材いりのため、段差と打ち継ぎ目クラックが同時にできる商品	-22	b	b	b	b									
			d	d	d										
			a	a	a										
用途により適材適所な材料を選定/路面温度により適材適所な材料を選定できる早見表	クラックカットシール材料選択早見表	°C	52	58	64	70	76	82							
									-10	b	b	b	b		
									d	d	d	d			
									-16	d	d	d	d		
									-22	d	d	d	d		
									-28	d	d	d	d		

4 仕様決定

予防保全による路面補修は舗装の劣化が比較的軽微な状態で実施されるべきです。
舗装面積 1㎡あたり、ひび割れ長さが 1.3m までがコスト的に有効的です。

- **診断区分 I**
A クラックフィリングシール
ひび割れ部にシーリング材を厚み 3mm 以下、幅 5mm 以上となるよう注入する。クラックが 3mm 以下と比較的小さいときに有効。



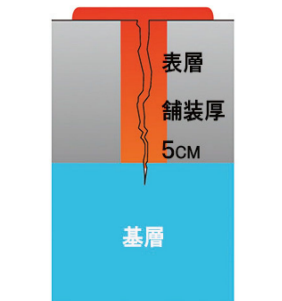
- **診断区分 II**
B クラックカットシール + バンドエイド
ひび割れ部にベープメントラウターで幅 12mm、深さ 19mm の溝を切り、その溝にシーリング材を注入するとともに溝より幅広く厚み 3mm 以下、幅 5mm 以上となるようにオーバーバンド状にする。



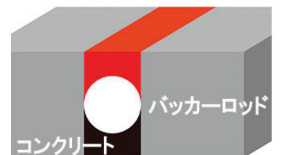
- **診断区分 II**
C クラックカットワイドシール + バンドエイド
ひび割れ部にベープメントラウターで最大幅 38mm 深さ 12mm の溝を切り、シーリング材を溝に注入し、溝より幅広く厚み 3mm 以下、幅 50mm 以上となるようにオーバーバンド状にする。寒冷地や横断クラックに有効。



- **診断区分 II**
D クラックカットディープシール + バンドエイド
ひび割れ部にベープメントラウターで 12mm 深さ 50mm の溝を切り、シーリング材を溝に注入し、基層のクラックに注入する。また、厚み 3mm 以下、幅 50mm 以上となるようにオーバーバンド状にする。



- **診断区分 II**
E 目地シール/ジョイントシール
コンクリートとコンクリートの目地部やアスファルトとコンクリートとの継目に発生する草の目地シールとして有効



- **診断区分 III**
F クラック抑制シール
クラック抑制シールとして、簡易的で、シート系のようにガラスの産廃など処分でき、表層のクラック抑制にも効果的

